

街の賑わい交流委員会 事業計画

委員長 廣瀬 貴郁

近年、新型コロナウイルス感染拡大の影響により数多くのイベントや地域の行事等が中止や延期となり、これまで当たり前だと思っていた人と人との交流が著しく減少しました。人と人とのつながりは笑顔を生み、地域を豊かにするために欠かせないものです。日々状況が変化する時代の中において時代の変化に順応しつつ、持続可能性を見出し、地域の人々が交流を通じ、つながりを深められる機会を創り出すことが必要です。

まず初めに年代、委員会の垣根を越えメンバー同士の交流を深める事業を構築します。人は一人では生きていくことも目標を達成することも出来ません。交流事業を通じ互いを理解し、仲間意識を向上させ同じ目標、目的に向かい団結することで様々な変化に順応できる強固な組織を構築します。継続事業である「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードは近年思う様な開催が難しい中ではありますが、長きにわたり街の賑わいを担ってきた諸先輩方、各関係団体の皆様にご指導頂きながらコロナ禍以前のようなパレード開催に向け進めて参ります。つくばの夏の風物詩として根付くねぶたパレードだからこそ肌で体感して頂き、以前は当たり前だった風景を目にすることは人々に笑顔と希望を与え日常を取り戻すきっかけを創ります。また制作段階から市民の皆様に参加を募り、観るだけでは無く参加することでよりつながりを深められる事業を構築します。そして開催後には参加者の皆様に対して検証をしっかりと行い今後のつくばの街にとって「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードの必要性、存在意義を確認し今後の在り方を見出します。

ねぶたパレードを通じ活気ある雰囲気を感じて頂き、コロナ禍以前のような一体感と交流が生まれます。日々急激に変化する時代だからこそ、人と人とのつながりの重要性を再認識し、未来に向かい検証していくことが持続可能な豊かな地域の創造につながるのです。

職務分掌

1. 第25回「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードの企画・実施
2. 会員同士が交流し相互の理解を高めて団結を強める事業の企画・実施
3. 全委員会の連携による地域の未来を創造する事業の企画・実施